

テーマ「市政参画を進める上での課題」

第4回(H26.12.14) 尼崎らしいまちづくりのルールを考える市民懇話会「意見交換で出た課題」のまとめ

| ① 私の課題 | ② みんなの課題 | ③ 行政の課題 |
|--|--|--|
| <p>市政を身近に感じない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近なものではなく、自分には関係がない <p>小難しいイメージがある</p> <ul style="list-style-type: none"> ・難しいイメージがあり、気軽にできないし、またできると知らない <p>関わらなくても困らないし、利害がない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状、困っていないので日常の生活上、参画を必要としない ・自分に直接、利害が絡まない事には関心がもてないのではないか <p>「個人」として関わる意味がわからない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の役割が見えない、分からない <p>任せておけばよい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お任せ意識が強い <p>関わる時間がない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常が忙しく参加できない <p>人間関係が狭く、億劫である</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間関係の狭さから、外に興味を持ってない | <p>つながり(関係性)が希薄になっている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もっと人として付き合えれば ・利害関係に縛られる。特に会社 <p>井戸端会議が魅力的でない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・井戸端会議は達成感がない ・井戸端会議は一般市民が参加していない | <p>「参画」という言葉のイメージが悪い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参画が義務っぽい ・「市政参画」ダサイ！ ・ソフトなイメージがあまりない |
| <p>地域への愛着がない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・転勤族なので地域に関わりがない ・地域に愛着が持てないのでは ・「わたしたちの尼崎」(教科書)の威力が薄い | <p>町会の役割がわかりにくい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体の存在がよくわからない ・町内会長はどうやってわかるのか？ ・町会に行くきっかけがわからない ・町会、組織が参画の働きをしていない | |
| <p>参画の方法がわからない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・制度を知らない(対象の情報不足) ・情報の共有ができていない <p>意見を誰にどう伝えればいいのかわからない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人の意見をどの団体に伝えて、行政に伝えてもらえるかわからない | | <p>参画に関する制度の周知が図れていない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・制度の周知不足 <p>「受け手」を意識した情報の仕分けと発信ができていない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全ての情報を全ての住民が知らなければならないと思っている <p>情報媒体を上手く活用できていない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報を知らない(市報、HPとラインくらい) ・市役所のHPは使いにくい ・HPから欲しい情報にたどり着けない ・結局、最後は電話連絡になっている |
| <p>意見を出すメリットがない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メリットがあると思えない <p>意見を出しても反映されない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見を言っても反映されないのでは、期待しても無理という諦めの気持ちがある ・参加する意欲が沸かない | <p>意見を出しても反映されない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な制度を利用しようという意識があまりない ・行政に対して意見を言ってもあまり意味がないという諦めの気持ちがある | <p>意見を聴くだけで終わっている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・制度が形だけになっている ・意見を聴くだけ。実現できているの？ ・フィードバックがない <p>本当に市民の意見を聴きたいと思っているのか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民参画は市の本音？ ・そもそも行政は本当に市民の意見を聴きたいのか ・市民から提案や意見を聴く意識はあるのか |
| | <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人と行政のつなぎとめになるような活動(ボランティア) ・同じ意見の方で集まると大きな個人 ・投票の選択肢が少ない | <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特活の時間が国語になったり、フリーの単限みたいな扱いになっていた |

テーマ「市政参画を進める上で、それぞれが取り組むこと」

第4回(H26.12.14) 尼崎らしいまちづくりのルールを考える市民懇話会「振り返りシート」のまとめ

| ① 私がすること、できること | ② みんなですること、できること | ③ 行政主体ですること、①②のために行政がすること |
|--|---|---|
| <p>自ら、身近なところからつながりをつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご近所で友達をつくる(仲間づくり) ・近所で起きていることに関心を持ち、近所付き合いを活発にする ・「つながる」大切さを理解する <p>自ら、積極的に参画してみる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加しやすそうな町会行事や市の行事などイベントに積極的に参加する(地域を知る) ・「市政参画」という言葉の硬さに遠のいていたけど自分から少し壁を崩して参加する <p>自ら、身近な人を巻き込む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1人が2人を連れてくる ・自分が興味を持てたことを他の人も誘って巻き込む ・自分が参加し、メリットを伝え、知人や友達を次回参加に誘う ・「参加したら楽しいで!」「面白いで!」と身近な人に伝える ・今回の活動を家族、友人などに伝える ・自分が必要だと感じた事に対して、1人でも多くの人を地道に巻き込み続ける ・自分が知ったことを人に伝えること、口コミが大きな成果を生むことがある ・ツイッターやfacebook等で尼崎市のことについての意見を拡散させる ・地域の問題点を解決する為、問題改善、解決し、同意する人々を日頃のお付き合いの中で募っていく | <p>みんな、身近な地域でつながりをつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が尼崎ですること、できそうなこと、してみたいことを共有し合う。じゃあ一緒にやれるよね、やってみない?という関係性づくり ・顔の見える関係を地域につくる ・イベント(あまセミ)の開催によって、顔の見える関係をたくさんつくり、関心をもってもらう ・地域の連帯 ・口コミで人の輪を広げていく <p>みんな、地域の課題や住んでいる人に関心を持つ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まず地域の課題をあぶりだす ・問題を把握することで、地域への関心が高まるのではないか。「地域で共有」を「行政と共有」へ繋げる ・地域の人たちをまず知ること(近くに誰が住んでいるのか)の共有 ・皆が集まったら何ができるのか、どんな力があるのか調べてみる <p>地域ですることに取り組む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ですことは地域の有志でトライする ・見回り事業。コミュニティ構築に寄与 ・だんじりなどもっとお祭りをする ・災害別ハザードマップや車イスマップの作成 ・市政参画の大切さを住民が主体となって広めていく | <p>参画を促す情報をわかりやすく届ける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域団体をはじめ多くの人々に情報を提供し、参画を促す ・これを達成すると個人にこういうメリットが出てくるという具体的な成功例を示す <p>市政に興味を持ってもらえるよう工夫する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参画したら面白そうなきっかけや仕掛けをつくる ・芸能人、市長、職員を効果的に使う ・尼崎市の有名人に意見を聴く広告をしてもらう ・市制100周年に向けて、有名人(尼崎在住、出身)を招き、尼崎市に人の流れを生み出す。 |
| <p>町会に興味を持つ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まずは町内に対して関心を持つこと ・町内会長は誰か?町内会費はいくらか?等々 <p>町会に気軽に入れるようにする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練など町会に入るきっかけをつくる ・市とつなぐ役の町会へ参加する ・市民の中にある「お任せ」意識を少しでも克服するために、町内会(自治会)の取り組みに参画する | <p>町会を魅力あるものにして、良さを伝える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内会を楽しいものにする ・町内会に入る人にとってメリットがあるようにする ・町内会を面倒くさがる人がいれば、「楽しいから一緒に行こう」と誘う ・町内会が全く機能していないので改革する ・町内会や子ども会を活性化させる | |
| <p>自ら、気軽に交流できる場をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達、町会など小さいグループで懇話会を開いてみる ・尼崎に住んでいる人たちで、役割とか所属とか関係なく、とりあえず交流してみる | <p>地域でみんなが話し合える場をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域でつながること ・地域の色々な団体や小さいグループが集まって地域の困りごとなどを話し合える場をつくる ・町会、NPOなど団体での意見交換を行う | <p>広くみんなが話し合える場をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少しでも多く、今回のような場を諦めずに継続して提供し続ける <p>テーマごとにみんなが話し合える場をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な問題、一題一題をテーマとした議論の場を設置し、様々な媒体を通じて広報していく |
| <p>「場」の持ち方を工夫する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市政とか参画とかはすぐには難しいと思うのでゆるい感じから始める(「朝活 in 尼崎」「アマバタカイギ」など) | <p>「場」の持ち方を工夫する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まずは楽しく交流をしてみる(「アマバタカイギ」など) ・参画する楽しさを持ってもらう(世代別、カテゴリー別、世代間交流) ・カフェ的(おしゃべり重視)、共同作業的(掃除、調理など) ・防災訓練を地域のことをよく知るきっかけとし、市全体で強制参加の形で行う(防災と地域コミュニティの活性化の一石二鳥) | <p>「場」の持ち方を工夫する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政主催より市民団体主催の方が面白いイベントが多いという話もあるが、行政が伴走者になると良いのではないか ・もう少しユーモアになってみる ・デザインの力をもう少し取り入れる |
| <p>地域のリーダーに協力する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノウハウがある人のリーダーシップが必要 | <p>地域のリーダーを育成する</p> | <p>地域のリーダー育成を支援する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域づくりのリーダー育成をあらゆる機会を通じて行う ・ファシリテーターのノウハウを有する個人を育成する |
| <p>シチズンシップを身に付ける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シチズンシップ教育に興味を持ち、身近なところから動かす経験を自分も含め、みんなですることができるようにする ・市政に関心を持ち、参政権は放棄しない | <p>地域でシチズンシップを育む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児期から地域を最低単位とした世の中の仕組みをずっと教える ・尼崎を良くすると自分にもメリットが将来出てくることを理解すること | <p>シチズンシップを育む機会をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育や様々な機会に参画の意識を引き出す ・大人対象じゃなくて子ども対象の企画をつくってみる |

| ① 私がすること、できること | ② みんなですること、できること | ③ 行政主体ですること、①②のために行政がすること |
|---|--|---|
| <p>議員や行政職員と知り合いになる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・政治家、市職員さんとの交流会 ・議員の活動を知る ・議員に頼み、市の取り組み、尼崎市をどの様にしていきたいかなど交流会に来てもらい、トークセッション会を開く、又、その様子をネット上にアップする | <p>行政とのつながりをつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市と地域団体との結びつきを強める | <p>市民と交流する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「市民」と友達になる 「行政職員です」ではなく、1人の人間とし関わることが大事。ときには本音を暴露することも良いのではないか。「正直、市政参画とか言っているけど私も全然わからない」 ・意識的に各団体と接触する機会をつくる ・行政は市民が何を求めているかにも目を向ける <p>市議会議員が市民との距離を縮める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議員は普段から市民の中に入っていく ・議員がもっと市民と行政の橋渡しをする ・議員は facebook など国民にとって身近なもので活動報告などをする ・議員の活用。市で決まったことの広報的な役割をさせるなど |
| <p>身近な課題などを行政に伝えてみる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気付いたことがあれば、まちづくり提案箱に意見を投稿するようにする ・身近な問題の「存在」を行政側に伝える | <p>身近な課題などを行政に伝えてみる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近所付き合いの中で共通して困っていることがあれば署名を集めて、市役所に提出する | <p>意見などを言いやすくする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・制度の名前をもっとわかりやすくしてみるなど、市政参画の入り口をもっと広くする ・町内に目安箱のようなものを設置し、自由に意見を入れられるようにする ・意見を積極的に言うともメリットがあるようにする 参画ポイントの付与など <p>市民の声にきちんと応える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の声でこういう風になりました、などの結果を知らせる ・市民の意見で実際に行政が動いた事例をHPに掲載する ・市民1人1人の意見の中で、特に多かった意見に対して、市のHPで回答する ・意見を聴くだけではなく、フィードバックする |
| <p>市政情報を積極的に収集する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市政について、自分から情報を得るという姿勢を持たないといけない時に来ているのではないか ・市のHP、広報誌や議会だよりにしっかり目を通す | <p>市政情報を積極的に収集する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あらゆる市政参画の内容別の情報公開をグループ、団体として広く求める。 | <p>情報発信の手法を工夫する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市報の表紙を工夫する ・SNSをもっと活用して情報発信する <p>情報発信した後、きちんと振り返る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市制度についても、45万人の市民にどれだけ認知されているか、常に精査し広報する |
| | <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人で人は変えられないので、みんなのことはみんなが考えて動いてもらうしかない（自分で変えられるのは自分だけ） | <p>その他(地域自治を考える)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区制を導入する |